

ブラジル・第一アリアンサ文化体育協会長が 関副知事を表敬訪問します

ブラジルで約100年前、信州（長野県）出身の移民を中心に開拓された入植地であり、ブラジル移民史において日本人による「定住型移住地」の代表例とされる「第一アリアンサ移住地」。この移住地を率いる文化体育協会長が、このたび関副知事を表敬訪問します。

1 来訪者

第一アリアンサ文化体育協会 弓場的（ゆばひょう）会長ご夫妻

2 訪問概要

日時：令和8年3月13日（金）10時00分から10時30分まで

場所：県庁本館3階 特別応接室

目的：入植100周年記念式典（令和6年11月）への関副知事出席の御礼
現地日本語学校への現職教諭派遣に対する御礼

同席者：JICA長野デスク、長野県教育委員会、2023～2025年度現地派遣教諭

※第一アリアンサ移住地（通称：信濃村）

〔所在地：ブラジル・サンパウロ州ミランドロポリス市〕

大正13年（1924年）、信濃海外協会（会長：長野県知事）が土地を購入し創設した移住地であり、当時は長野県民92世帯が移住しました。

平成27年（2015年）からは、JICA・長野県教育委員会・長野県の3者による連携協定に基づき、長野県から現地へ現職教諭を派遣しています。

文化体育協会長は、現地日系コミュニティを代表する立場にあり、派遣教諭は県と連携しながら、日本文化の継承、日本語教育、長野県との交流促進に取り組んでいます。



国際交流員の日々の出来事を
Instagram
@nagano_cirs で紹介
しています。

（問合せ先）

担当 企画振興部 国際交流課
稲玉、脇坂

電話 026-235-7188（直通）
026-232-0111（代表）内線 2807

FAX 026-232-1644

電子メール kokusai@pref.nagano.lg.jp